

2024年6月17日

報道関係者各位
プレスリリース

株式会社ヴィッツ
(証券コード:4440)

製造業の生産性向上や省人化を支援する
デジタルツインソリューション「SF Twin™ Cobot 2.0」発売

株式会社ヴィッツ(本社:名古屋市中区 代表取締役社長:服部 博行 以下、ヴィッツ)は、6月17日より製造業の生産性向上や省人化を支援するデジタルツインソリューション「SF Twin™ Cobot 2.0」(以下、本製品)を発売します。

◆製品概要

本製品はヴィッツが2023年4月に発売した「SF Twin™ Cobot」の後継版製品となります。現行の SF Twin™ Cobot は協働ロボット(※1)の導入及び運用を円滑化させるソリューションとして、順調に成長を続けております(※2)。本製品はその後継版として、より競争力を向上させた製品となっております。

◆本製品の特徴

現行の SF Twin™ Cobot と比較した本製品の特徴は大きく以下の3つです。

- (1) 協働ロボットの導入前検討から運用まで、協働ロボットに関わるあらゆるシーンでの活用が可能
- (2) 幅広いメーカー/機種 of ロボットユーザー様による活用が可能
- (3) 「誰もが DX 人材として活躍できる」を目標とした「使いやすさ」の追求により、誰でも気軽に活用可能

- (1) 協働ロボットの導入前検討から運用まで、協働ロボットに関わるあらゆるシーンでの活用が可能

現行製品は主な利用シーンとして、協働ロボットの「導入」及び「運用」にフォーカスしています。これに対し、本製品では「導入前検討」の利用シーンを想定した機能を新たに追加いたしました(図1)。この機能追加により、お客様が協働ロボットを導入検討する、より上流工程においても活用いただける製品となったと考えております。



図 1 本製品が想定する利用シーンと対応機能

また、本製品はお客様のニーズに合わせて、機能をカスタマイズすることが可能です。協働ロボットを活用しているお客様のニーズは多岐にわたっており、必ずしも全てのお客様が前述の全シーンで本製品を活用されるとは限りません。本製品は機能のカスタマイズを可能とすることで、お客様にとって最も使いやすい形で、かつリーズナブルな価格での製品提供を実現しております。これは競合製品と比較しても大きく異なる形態の提供方式であり、本製品が優位性を発揮できる差別化要素と考えております。

これらの特徴は、既に展示会の場等において現行製品のターゲットとなっていなかったお客様からもご興味をいただいております、顧客層の拡大につながると考えております。

(2) 幅広いメーカー/機種 of ロボットユーザー様による活用が可能

現行製品では対応している協働ロボットメーカーや機種に限りがありましたが、本製品では国内外 5 メーカー(※3)15 機種に対応しております。機種数の比較では、現行製品の 3 倍と、大幅な機能拡張となっております。また、今回新たに対応した協働ロボットメーカーには国内シェアが大きいメーカーも含まれており、本製品をご活用いただけるお客様の拡大が期待できます。

(3) 「誰もが DX 人材として活躍できる」を目標とした「使いやすさ」の追求により、誰でも気軽に活用可能

国内製造業者がデジタル技術を活用する上での大きな課題として、活用するためのノウハウの不足や、人材の不足が挙げられます。ヴィッツはそれらの課題に対して、特別なノウハウを必要とせず「誰もが DX 人材として活躍できる」製品作りを目指しています。また、本製品の特徴のひとつとして、ユーザーインターフェースのデザインに強みを持つ株式会社フォーチュン(※4)の協力のもと、誰でも活用可能なデザインを追求しました。結果、現行製品と比較して、お客様によりご活用いただける製品を実現できたと考えております(図 2)。



図2 本製品のインターフェースの変化

◆販売形態

上記の機能改善に加え、本製品は製品販売とサポートの経験が多く、製造業界へのアプローチに強みを持つ丸紅情報システムズ株式会社(※5)に販売を委託します。これにより国内外を問わず、これまでに無い販売ルートを確立します。



◆今後の展望

・本製品の販売目標

本製品の年間目標販売ライセンス数は 100 本です。

・今後の拡張

今後の本製品の拡張として以下を計画しております。

- クラウド化
- リモートサポート機能の実現
- メーカー/機種数の拡張
- 更なる使いやすさの実現

お客様から多くのご期待をいただいておりますクラウド化およびリモートサポート機能の実現に関しては、それぞれ、より多くのお客様に本製品をご活用いただくために必要な対応であると考えており、引き続き実現に向けて取り組んで参ります。

また、メーカー/機種数の拡張や、使いやすさの実現に関しても、更なる機能改善が可能です。今後も積極的に開発に取り組み、日本産業界の振興に寄与できる製品の実現に向けて努めてまいります。

◆参照

※1: 協働ロボットは従来の大型産業ロボットと比較して、可搬性やプログラミングの容易性に優れた産業ロボットです。変種変量生産の観点でも注目されており、近年急速に普及が進んでいます。

※2: ヴィッツによる今年3月のプレスリリースを参照

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/4440/tdnet/2411830/00.pdf>

※3: JAKA Robotics、Universal Robots、株式会社デンソーウェーブ、Elite Robots、Techman Robot Inc.

※4: 株式会社フォーチューン

<https://www.f-tune.co.jp/>

※5: 丸紅情報システムズ株式会社

丸紅情報システムズは、丸紅 I-DIGIO グループの一員として、最先端 IT を駆使した付加価値の高いソリューションやサービスをお客様視点で提供するソリューションプロバイダです。製造・流通・サービス・小売・金融業を中心とする様々な業界の知見と高度な提案力とグローバルな視点からお客様の差別化に貢献する最先端技術やそれを活用した新しいソリューションの開発力が当社の強みです。ソリューションや製品、サービスを通じて、お客様の期待を超える新しい「価値」の創出でお客様のビジネスを支援します。

<https://www.marubeni-sys.com/>

【製品に関するお問い合わせ】

株式会社ヴィッツ

営業室 TEL: (052)-218-5858

お問い合わせフォーム: <https://www.witz-inc.co.jp/contact/product/>

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社ヴィッツ

IR 担当窓口: 佐藤・服部(孝) TEL: (052)-218-5018 Mail: ir-kanri@witz-inc.co.jp